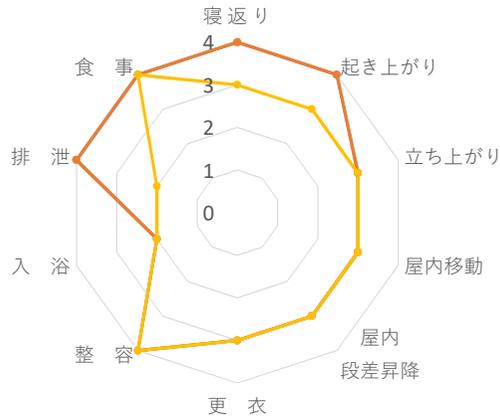


STEP1 生活行為の変化を捉えるシート

ケアマネジャー氏名		但馬 花子	
利用者氏名		長寿 太郎 (要支援2)	
		配点	
		4	3
		2	1
		できる	時間を要する ができる
		一部介助	できない

		(1) 回目		(2) 回目		(3) 回目	
		2019年12月〇日		2020年1月〇日		2020年2月〇日	
		低 下		低 下		低 下	
寝 返 り	配点	4	4	4	3	有	
	備考	ベッド柵を持って行う	1回目と同じ		前月より時間がかかる印象		
起 き 上 が り	配点	4	4	無	3	有	
	備考	ベッド柵を持って行う	1回目と同じ		前月より時間がかかる印象		
立 ち 上 が り	配点	3	3	無	3	無	
	備考				1回目失敗。2回目で成功。 気合いが上がる感じ		
屋 内 移 動 移動手段 (T字杖)	配点	3	3	無	3	無	
	備考				歩く速さが遅くなった印象		
屋 内 段差昇降	配点	3	3	無	3	無	
	備考	上がり框は高いが、手すりを持って昇降	1回目と同じ		登り降りに時間がかかるようになってきた		
更 衣	配点	3	3	無	3	無	
	備考	下衣、靴下等は座ってはく	1回目と同じ		同左		
整 容	配点	4	4	無	4	無	
	備考						
入 浴	配点	2	2	無	2	無	
	備考	背中、足を洗う介助が必要	1回目と同じ				
排 泄	配点	4	4	無	2	有	
	備考	頻尿	1回目と同じ		失敗が増えた。尿意を感じてから、トイレ まで間に合わない		
食 事	配点	4	4	無	4	無	
	備考	常食。完食が多い。 たまにむせることがある	1回目と同じ		同左		



○生活行為の変化を捉えるシートを記入した結果
低下した生活行為がある場合は速やかに
リハサービス導入の検討をしましょう

● (1) 回目
● (2) 回目
● (3) 回目

○次にSTEP2のチェックリストを記入しましょう
生活行為が低下した「原因」や生活行為の
「低下のリスク」を見つければ、早期に対策を
検討しましょう

STEP2 生活行為の「低下の原因」・「低下の兆し」を捉えるチェックリスト※2

必要に応じて、利用中のサービス担当者と相談して記入しましょう

前回訪問時または以前の状態と比べて 増悪した・目立つようになった項目を✓する		該当する項目に✓			特に気になる項目に◎	リハ事業所以外にも相談が必要と思われる機関
		(1)回目	(2)回目	(3)回目		
身体機能	痛みの増悪、痛みの部位が増えた 部 位 ()					かかりつけ医 (医療機関)
	腫れの増悪、腫れの部位が増えた 部 位 ()					
	歩行に時間がかかるようになった。介助が必要になった。			✓	◎	地域包括支援 センター (※3) 意欲については、 うつ・認知症に対 する相談
家事などの日課に時間がかかるようになった。失敗することが増えた						
活動量	介護保険サービス以外の外出頻度が低下した		✓	✓		
	家事や役割が減った					
	一日中、横になって過ごすことが多くなった (退院直後の利用者) 入院前より明らかに日中の活動量が低下している		✓	✓		
	発熱・体調不良等の後、明らかに日中の活動量が低下している			✓	◎	
意欲	生活に対する意欲が低下してきている					
	好きだったことや日課に対し、興味・関心が薄れてきている					
環境	家の段差でつまづくなど住環境への介入が必要になった 場 所 (玄関上がり框)			✓		福祉用具販売店 地域包括支援 センター (※3)
	福祉用具の導入、変更が必要になっている 種 類 ()					
栄養	食事時間が長くなった 理由 () 例：介助量が増えた 飲み込みに時間がかかるようになった					かかりつけ歯科医 市町健康課 (歯科衛生士・ 栄養士)
	食事量が減った					
その他	新たに進行疾患の診断を受けた 疾患名 ()					地域包括支援 センター (※3)
	家庭内の支援者に変化があった (介助量増加、介助者の減少、介助力の低下等)					
	家庭内の支援者が介助方法に悩んでいる (ポジショニング、移乗等)					

※2 STEP1「生活行為の変化を捉えるシート」を使った結果

- ① 低下した項目がある場合 ⇒ 低下した原因を分析しましょう
- ② 変化がなかった場合 ⇒ 生活行為の低下の兆しがないかチェック(確認)し、予防的な対応策を検討しましょう

※3 地域リハビリテーション活動支援事業(市町事業)

ケアマネジメントへの助言を目的にリハ専門職の派遣を実施しています。リハ専門職からデイサービスで実施する体操、介助方法、住宅改修などの助言を受けることができます。受付窓口は地域包括支援センター(豊岡市の場合は高年介護課)

STEP 3 総 評

(1) 回目 2019年12月〇日

医師意見書 リハビリの必要性	無	有⇒理由
生活行為の低下	無	有⇒内容
生活行為低下の原因・兆し	無	有⇒☑項目
リハビリの必要性	無	有⇒依頼事業所
リハビリ以外への相談	無	有⇒相談先
本人・家族の意向		
介護支援専門員の意向		
総合的な支援方針（結果）		

(2) 回目 2020年1月〇日

生活行為の低下	無	有⇒内容
生活行為低下の原因・兆し	無	有⇒☑項目 外出頻度が低下、一日中横になって過ごす
リハビリの必要性	無	有⇒依頼事業所
リハビリ以外への相談	無	有⇒相談先
本人・家族の意向		特に身体も変わったことは感じていない。今年は雪が少なく、雪かきせずに助かっている。コタツの守になっている
介護支援専門員の意向		寒い日が続き、若干活動量が下がってきてはいるが、週2回のデイサービスでなんとか現状を維持していると思う
総合的な支援方針（結果）		活動量の確保のため、デイサービスで行う体操を確実に行うよう通所介護職員へ伝える

(3) 回目 2020年2月〇日

生活行為の低下	無	有⇒内容 寝返り、起き上がり、排泄
生活行為低下の原因・兆し	無	有⇒☑項目 歩行に時間がかかる、体調不良後の活動量低下
リハビリの必要性	無	有⇒依頼事業所 A事業所（通所リハ）またはB事業所（訪問リハ）
リハビリ以外への相談	無	有⇒相談先 C福祉用具販売店、地域包括支援センター
本人・家族の意向		風邪を引いてから足が本調子ではない。足腰が弱った感じがする。風邪を引く前くらい歩けたらいいと思っている
介護支援専門員の意向		風邪をきっかけに廃用が進んだと思う。歩きにくさも出てきているため、住環境整備やリハビリの必要がある
総合的な支援方針（結果）		在宅リハビリの導入を検討する。導入が難しい場合、地域包括支援センターへ相談しリハ専門職の派遣を検討する。リハ専門職・福祉用具販売店と相談し、環境調整を実施する